

月刊 G グラフィックサービス No.889 2025.12



卷頭企画

ジャグラ作品展大臣賞受賞企業に聞く

開発・開拓部門 厚生労働大臣賞 株式会社クリエイト横浜

■ 卷頭言

カッターからマウスへ

— 神奈川県支部長／(有)さくらプロセス 櫻井 薫

■ 寄稿

SPACE-21 全国協議会茨城大会報告

行こうぜ、印刷の向こうへ

■ NEWSとお知らせ

ジャグラ作品展募集

ジャグラ文化典大阪大会 PR

マスターズクラブメンバー募集

会員実態調査アンケートへのご協力のお願い

東グラ・組合まつり 2025

GS No.889 2025 12

CONTENTS

■ 巻頭言

1 カッターからマウスへ

神奈川県支部長／(有)さくらプロセス 櫻井 薫

■ 巻頭企画

2 ジャグラ作品展大臣賞受賞企業に聞く

(株)クリエイト横浜 代表取締役社長 上澤 宏史

■ 寄稿

24 SPACE-21全国協議会茨城大会報告 行こうぜ、印刷の向こうへ

■ NEWSとお知らせ

5 ジャグラ作品展募集

7 ジャグラ文化典大阪大会PR

8 マスターズクラブメンバー募集

9 会員実態調査アンケートへのご協力のお願い

28 東グラ・組合まつり2025

■ NEWSとお知らせ

20 ジャグラBBホットニュース

21 業界の動き

ホリゾン スマートソリューションフェア開催
印刷タイムス 70周年記念対談
日本印刷機材協議会 総会開催

23 JFPI REPORT ダイジェスト版

10 雑学コラム⑬

29 事務局日誌と今後の予定

- 10 (株)研美社
- 11 リコージャパン(株)
- 12 学校法人日本プリントイングアカデミー後援会
- 13 ホリゾン・ジャパン(株)
- 14 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
- 15 (株)小森コーポレーション
- 16 (株)ショーワ
- 17 東京リスマチック(株)
- 18 (株)モリサワ
- 19 (株)モトヤ
- 表4 リヨービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様に、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数 月1回 / 年間12回
購読料 ジャグラ会員は無償（会費に含む）
・希望企業、団体への有償配布

配布方法 ・全会員へ直接郵送
・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファックス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

月刊 グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

カッターからマウスへ

神奈川県支部長／(有)さくらプロセス

櫻井 薫

当時はフィルム制作までの会社、刷版のみを扱う会社と分業されていることも多くありました。弊社は両方を手がけていたため、PS版に焼き込み、印刷会社様に納品するところまでが一つの流れでした。そのため、フィルム一枚一枚は自分の“作品”のような感覚があり、非常にやりがいがありました。Macの普及、DTPの急速な浸透、そしてフィルムレス化とCTPの登場。製版の歴史はここから一気にデジタル時代へ移行します。

かつてカッターやオペークで行っていた作業は、マウス一つで瞬時に処理できるようになりました。フィルムの保管場所も不要となり、工程もスピードも精度も向上しました。仕事環境は大きく変わったと言わざるを得ません。

しかし、アナログで学んだ経験は今も活きています。露光や濃度の感覚、光と影の扱い方、写真の調子の読み方。これらはデジタルの画面上では理解しづらい“身体で覚えた知識”でした。アナログを知ったからこそ、いまのデジタルの便利さや危うさも理解できるように思います。

印刷と製版の世界は大きく変化しました。しかし、“良い印刷物を届けたい”という思いは昔も今も変わりません。

カッターを握り、フィルム・現像液の匂いに包まれて働いたあの頃は、苦労も多かった反面、ものづくりの原点を身体で感じられる時代もありました。写真製版を知る人が少なくなったいまこそ、当時の経験を次の世代に伝えることが私たちの役目のひとつだと感じています。

印刷もアナログからデジタルへ、そしてAIへと進化を遂げてきました。製版フィルムからCTPへ、DTPの普及、デジタル印刷機の高度化、さらには生成AIや自動化技術の台頭など、私たちが経験してきた変化は一つひとつが大きな転換点でした。そして、その流れはこれからも緩むことはありません。むしろ、技術進化の速度はこれまで以上に加速し、私たちの想像を超えるスパンで新しい選択肢やビジネスモデルが登場してくるはずです。

幾度となく大きな変革の波を経験し、そのたびに乗り越えてきました。だからこそ、未来を悲観的に見る必要はありません。いつの時代も“変化を恐れず一步踏み出す人”その“人”が未来をつくるのです。

そんな思いを胸に、今日もマウスを握り新しい可能性を探っています。



ジャグラ作品展 大臣賞受賞企業に聞く

令和6年度ジャグラ作品展開発・開拓部門で最高賞の厚生労働大臣賞を受賞された株式会社クリエイト横浜にご寄稿いただき、受賞の喜び、作品に対する思い、完成に至るまでの裏話などを語っていただきました。

ハガミさん 開発・開拓部門 厚生労働大臣賞

株式会社クリエイト横浜 代表取締役社長 上澤宏史



この度は、令和6年度ジャグラ作品展開発・開拓部門の中から弊社ハガミさんが厚生労働大臣賞を賜り、誠にありがとうございます。

ハガミさんは今年で3年目の作品で過去の2回にも技術優秀認定証を頂いた事があり、今年も賞を頂けたと社員に受賞通知を見せたところ、「厚生労働大臣賞と書いてある」と言われ、「そんな大層な賞を頂けたのか」と何度も見直

してしまいました。

弊社ハガミさんの語源ですが、印刷物の断裁時に出る細長い端紙が元になっております。

それを毎日専用のズタ袋に入れて捨てているのを見て「この細長い紙から何か出来ることは無いか?」と思い、手先が器用な社員が端紙をアコーディオン型に折ってみたり、長方形の同じ長さで

ボールを作ったり、丸い輪を作りて輪っかにしたりと色々な物を作りはじめたのがきっかけでした。当社が神奈川県支部のSDGs委員会に入会している事もあり、日頃から残紙やヤレ紙の処分など、紙の廃棄について気にしていた結果かもしれません。

その細長い端紙を大小取り揃えてパッケージにしたのがハガミさんはじまりでした。

商品の裏には制作事例を入れておりますが、細長い紙は作る方の感性で色々な形になるかと思います。

細長い端紙の次に取り組んだのが、オンドマンド印刷機から毎日出力されているカラーチャート調整紙でした。フルカラーで印刷をして色ブレが無いか等の確認をしている調整紙も毎日処分されているので、この用紙も何か使い道がないかと考えました。A3ノビの用紙なので丸めてメガホンにする、ランチョンマットにするなどの案もありましたが、同じ様な商品が既に世の中にあったため断念。その後、社員の一人が「花屋さんで花を渡す時に使える紙にならないか」とのヒントから、病室などで花瓶などが無い場合、自動販売機で購入したペットボトルを使って花瓶にできるように、ペットボトルに被せるペーパーカバーを制作し、『ハガミさんが印刷所で見つけた印刷時に出る余剩紙や調整紙を使った花瓶が無くても花を飾れるとってもECOなペットボトル・ペーパーカバー』という長い商品名をいたしました。

次に、名刺サイズの端紙を使って何か作れないかということで、紙製のホイッスルを作成してみました。この商品は糊とハサミを使って折り込んでいくと笛になるという商品です。音が鳴る箇所を見つけるために実際に吹きながら吹き口の角度を調節するのが少し難しいですが、小さい子ども達のイベントなどでは、自分で切って折った紙から音が出て喜ぶ顔を見ると、普段何気なく捨ててしまう紙にも工夫次第で再利用が出来るのだと改めて感心しております。商品名は『ハガミさんが印刷所で見つけた印刷時に出る余剩紙や調整紙を使ったハガミさん紙ホイッスル』でこちらも販売させてもらっています。

そして最近ハガミを使用して作った商品がハガミコプターという空飛ぶ?ハガミさんです。

これも名刺サイズで3種類作れる商品となっており、高い所から落とすとクルクルと回りながら落ちる姿をヘリコプターに見立てて、『印刷調整紙を使ったペーパーイハガミコプター』という名前にしてあります。

冒頭にお話した神奈川県支部のSDGs委員会ですが、当初SDGsワーキンググループとして立ち上げていただいたものになります。

コロナ禍の真っ最中だった4年前、一度経済が止まって仕事が激減していた時に、SDGsという言葉と派手なカラーリングのバッジをよく見聞きするようになりました。調べてみると、どうやらその派手なカラーリングには意味



ECOなペットボトル・ペーパーカバー



展示風景

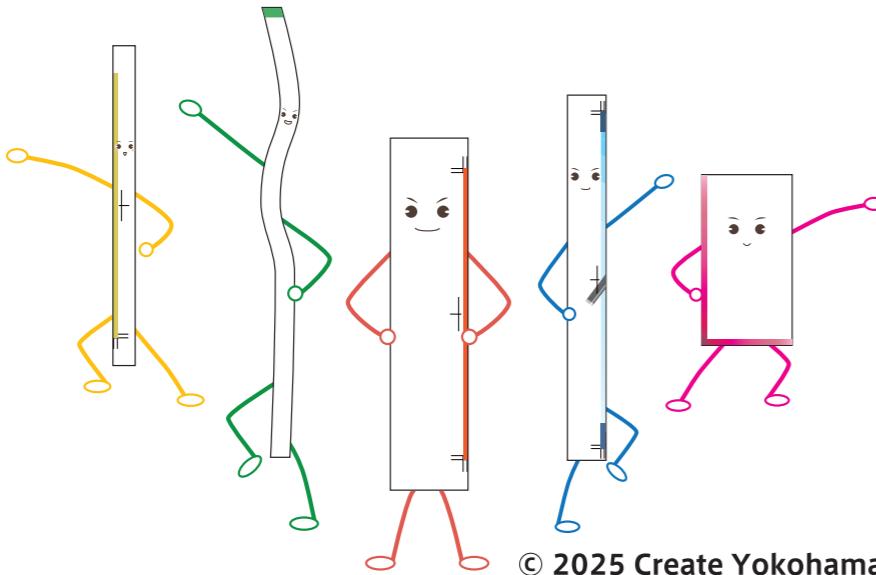
があり、それぞれ達成すべき17の目標を表しているということでした。目標自体は「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」など、印刷自体にできることはないように感じられましたが、環境用紙の提案やガリ版教室による印刷の歴史の教育、端紙やヤレ紙の廃棄削減など考えれば考えるほど出来ることは後から見つかってきます。

その身近な一つひとつの活動により持続可能な開発(様々な課題を解決しながら、日々の生活と暮らしを続けること)が出来るということに感銘を受け、何か出来ることは無いかと思い、SDGsワーキンググループを神奈川県支部で立ち上げて頂いたのが、現在のハガミさんの商品開発に繋がっているかと思います。

そのSDGsの活動中に、横浜で障がい者施設の方が描いた文字や絵をデジタル化して販売するご当地フォント共



ハガミコプター



© 2025 Create Yokohama Co.,Ltd.

創プロジェクトをされている横浜フォントさんと出会い、障がい者施設の方が描いた6枚の絵を横浜の情報処理専門学校の学生さんがデジタル処理をし、そのデータを弊社で余剰紙に印刷した商品を作りました。

横浜のアパホテル＆リゾート横浜ベイタワー1F「haishop」で昨年2024年12月2日から30日まで開催していた展示販売会にて販売させて頂き、その売り上げの一部を障がい者施設へ寄付をするといった活動に参加いたしました。

その他にも、いそご地域活動ホームいぶきさんのチャリティーバザーにハガミさんを展示し、こちらも売り上げの一部をいぶきさんの事業活動費に寄付をする活動など、SDGsを通じて様々な団体と接点を持ったことが何よりの結果だと思っております。



あみこみBOXと
紙ホイップル



ガリ版教室



ジャグラ作品展募集は 2025年 12月1日から 2026年 3月31日まで！

[作品は2025年に作られたものに限ります] **Apply now!**

～令和6年度 大臣賞受賞作品～



出版部門 経済産業大臣賞
『目で見る馬術』
オリビア印刷（株）／大阪府支部



宣伝部門 経済産業大臣賞
『ブラックライトカクテルメニュー』
長瀬印刷（株）／福島県支部



業務用印刷物部門 厚生労働大臣賞
『年賀状が、ヘビをテーマにしたカードゲーム!?』
(株)ガリバー／神奈川県支部



開発・開拓部門 厚生労働大臣賞
『ハガミさん』
(株)クリエイト横浜／神奈川県支部

＼開催要項／

〈審査対象〉

作品は2025年内に完成したものに限ります
(2025年1月1日～12月31日までの作品)

〈審査方法〉

全三回の審査会にて審査基準に基づき採点し、順位を決定

〈応募方法〉

- ・応募作品に申込書を添えて、本部までご送付ください
- ・申込書はジャグラHPよりダウンロードできます
- ・原則、作品の返却は行っていません

「ジャグラ作品展」とは
グラフィックサービス業の技術力向上や
マーケットへのアピールを目的とするもので
ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が
社団法人を設立した1966年より
開催されている歴史あるコンクールです。

過去の受賞作品はこちら→





ジャグラ作品展出品申込書

No.

事務局記入欄

申込日 年 月 日

会社名		担当者	
住所		支部	
E-mail		電話 / FAX	

発注者に出品の了解を得て、または受賞後了承を得る予定の作品、かつ著作権を侵害したものではありません。

チェックをお願いします

事務局キリトリ線

作品名

(記入必須)

No.

事務局記入欄

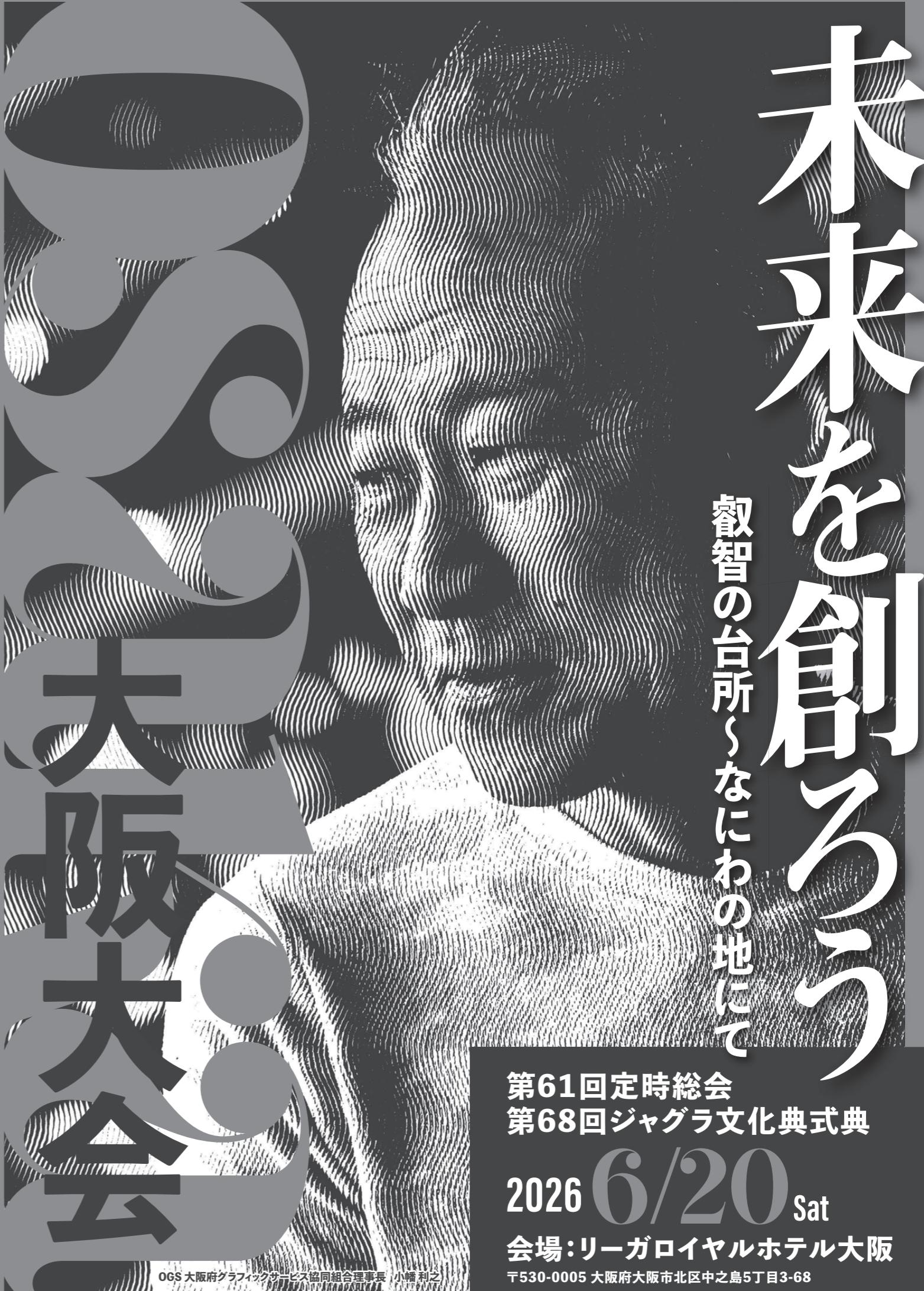
希望する部門にチェックしてください (希望にそえない場合もあります)

- 出版部門 いわゆる出版物と言われるもの
単行本、文芸書、文集、記念誌、教科書、学術参考書、専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、復刻版など
- 宣伝部門 宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物、デジタルコンテンツ
カタログ、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書、HPなど
- 業務用印刷物部門 本業界が主流としてきた印刷物。また、商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む
研究報告書、機関誌、便覧、手引書、会議資料、大会等資料、会報、年報、パーソナルユース(年賀状、レターhead、ハガキ、名刺)など
- 開発・開拓部門 顧客からの受注製造ではなく、自社で開発した商材・サービス
自社開発のコンテンツ、アプリ、デジタルコンテンツ、販促グッズ、独自提案ツール、独自加工技術など

特に評価して欲しい項目にチェックしてください (複数選択可能)

- 企画・編集への参画
製作物の企画構成・取材・執筆・編集・校正などへの参画
- 設計・提案
表紙・本文のデザイン・書体・用紙・難易度が高い・禁則ルール等加工、素材等の提案
- 文字組版
難易度が高い・禁則ルール等
- 完成度
印刷や造本、製作物の仕上がり
- 後加工・付加価値
特殊加工・特殊印刷等
- 開発・開拓
新商品開発・新規開発手法・開拓の視点・狙い等
- 顧客開拓、創注
企画提案から顧客開拓、創注に結びついた
- 課題解決
お客様の課題解決に結びついた
- マーケティング・効果測定
マーケティング・効果測定・デジタル技術の活用
- 社会性
CSR・SDGs・持続可能な社会貢献等
- その他 ()

アピールポイント (自由にご記入下さい) 【任意】



一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会
the Japan Graphic services industry association JaGra

マスターズクラブ メンバー募集

ジャグラを応援する諸先輩の集い

ジャグラマスターズクラブは、世代交代等で一線を退かれた満60歳以上の会員企業を対象とするOB会です。若手のSPACE-21、現役の本部、諸先輩のマスターズクラブの三世代が協調し合ってジャグラの発展を目指します。諸先輩の皆様、まずはご登録お願ひいたします。

主な活動

- ・ジャグラ文化典への参加
- ・マスターズクラブ総会の参加
- ・本部事業、地協、支部活動への参加応援
- ・各地での諸先輩の交流イベント開催

参加資格

ジャグラ会員企業で代表者、役員経験者で本会の趣旨に賛同する満60歳以上の方

参加方法

下記フォームに登録または本部事務局にご連絡ください
(<https://forms.gle/C1viyEadwdo8fDfv9>)



<問合先>

電話番号：03-3667-2271

メール：k_Kasahara@jagra.or.jp または tanaka@jagra.or.jp

S

会員実態調査アンケートへのご協力のお願い

2026年2月9日締切

印刷業界を取り巻く経営環境は、急速なデジタル化の進展や人材不足、顧客ニーズの多様化といった大きな変化の中にあります。とりわけ中小印刷事業者においては、「社長しかできない仕事」「手書きによる作業指示」「どこからDXを始めればいいかわからない」といった声も多く、属人化や非効率な業務が生産性のボトルネックとなっている実態が浮き彫りになってきました。このような背景のもと、私たち生産性向上委員会では、業界全体の現状把握と課題の可視化を目的として、「会員実態調査」のアンケートを実施いたします。

本アンケートは、経営者ならびに現場のリアルな声を集めることで、ジャグラの次年度以降のより実効性のある支援策の立案や、他社の成功事例との比較分析、新たな共創モデルの構築へつなげていくための第一歩となります。ご回答いただく内容は、会社規模や設備状況、業務の属人化状況、DXの取組状況、そして今後の経営課題や創注への取組といったものです。集計結果は統計的に処理され、個別企業名が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ジャグラの活動のさらなる活性化と業界の持続的な発展と皆様の経営のヒントにつながる機会として、ぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。



ジャグラコンパクト DX 事業担当 副会長

原田 大輔

会員実態調査 2025 は
こちらから回答してく
ださい。





業界の「未来」を創る。

日本プリンティングアカデミー後援会

会員募集中

50会員突破!

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関であるJPAへの支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。

印刷業界の「未来」を創る=人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

年会費

法人会員 30,000円

個人会員 10,000円

入会特典

JPA主催セミナーの割引

JPAが主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。

※詳細についてはお問い合わせください。



日本プリンティングアカデミーとは？

1978年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約1,000名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT教育機関として年間200名を超える社員の研修も行っています。



入会方法

右のQRコードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力のうえ、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。

お問い合わせ

電話 03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00～17:30

メール

koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA後援会」とご記入ください。

印刷業界の人財育成なら当校にお任せください

専門学校

「今」の印刷業界で働くために必要な知識・技術を総合的に学べます。

一オフリント・コンテンツ学科（1年制）
一メディア・コンテンツ学科（2年制）

企業研修

実機を使いながら学べる業界特化型研修で、企業が抱える人財育成における課題を解決します。

一ベーシック研修 一カスタマイズ研修
一業務別講座



入学者&受講企業募集中



学校法人日本プリンティングアカデミー

〒112-0002 東京都文京区小石川4-13-2 平日9時00分～17時30分

電話

03-3811-2734

FAX

03-3811-3557

メール

info@jpa.ac.jp

印刷 専門学校



Horizon

Change the focus

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

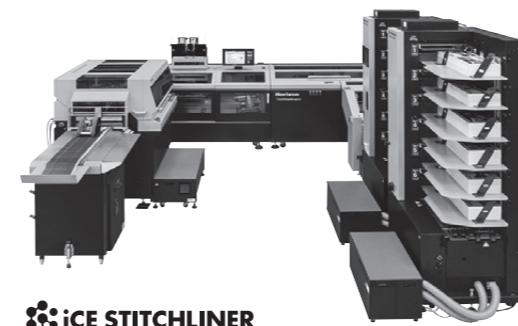
iCE Seriesは、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム

iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機

iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代15インチパネルHorizonXUI(ホリゾンクロスユア)初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

紙折機

iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機

iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本 社	〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
東 京 支 社	〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
京 都 支 社	〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
福 岡 営 業 所	〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
仙 台 サ ー ビ ス セ ン タ ー	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068



Revoria Press™

信頼性と創造力で、
ビジネスの新たな地平を拓く

Revoria Press シリーズは、
プロダクション・プリントの領域で積み重ねた信頼性と
これまでにない付加価値を導く創造力で、
ハイエンドのプロフェッショナルからオフィスまで、
お客様のビジネスの成功に向かってともに進みます。

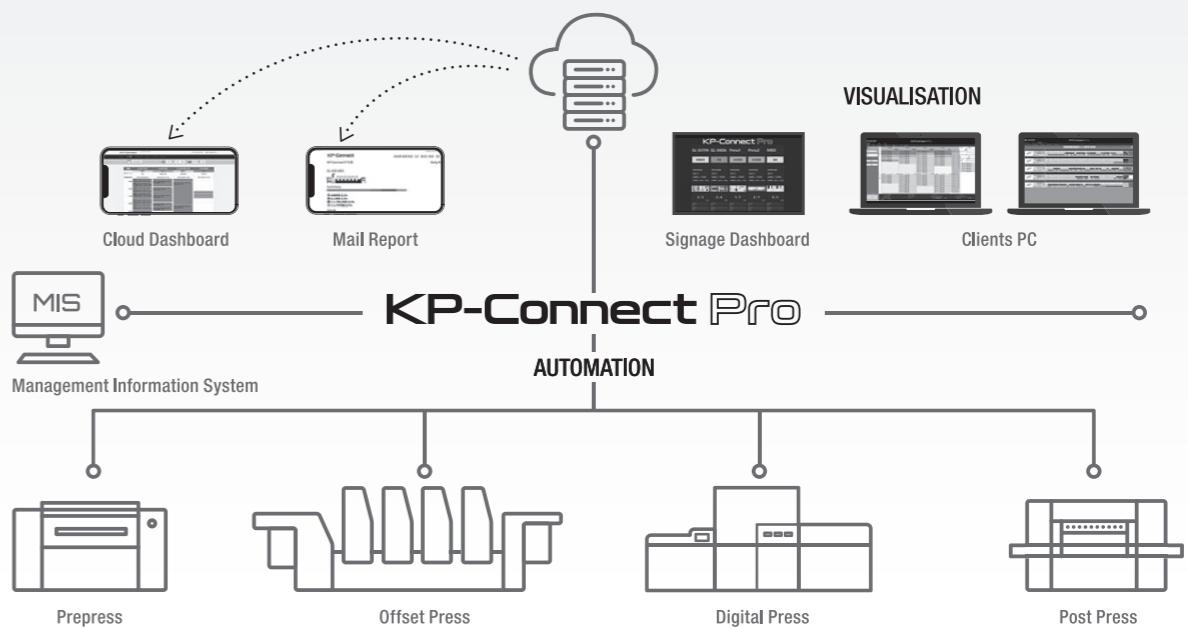


上から Revoria Press PC1120、Revoria Press SC285S/SC285、Revoria Press E1 series



CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY





SHOWA

ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149

株式会社

ショーウ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号

TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口
プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail : support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

The image displays four large, bold black Chinese characters arranged in a 2x2 grid against a white background. The top-left character is '革命' (Revolution), featuring a vertical stroke on the left and a complex, multi-stroke structure on the right. The top-right character is '孩子' (Child), characterized by its rounded, childlike strokes. The bottom-left character is '在世' (In the World), with a thick vertical stroke on the left and a horizontal bar across the middle. The bottom-right character is '自由' (Freedom/Liberty), which is a simplified form of the character '由' (by) combined with '自' (self). All characters are rendered in a high-contrast, graphic style.

文字とつながる。
世界がひろがる。

Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能	24書体まで利用可能	上限なく書体を選択可能
Select8	Select24	スタンダードプラン

Webフォント

Webフォント / Webフォント Lite



morisawafonts.com

נַחַת

いろいろなコト は モトヤ にご相談ください!!



**皆様と共に歩み続けるモトヤは、
皆様のお困りごとを解決する
「コトうり」のご提案を続けます。**

**そして、
SDGsのゴールの実現に
協力していきます。**



—2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み—

印刷現場の環境改善を考える



ECO no MISTは、
お客様と共に「環境」と「価値」を考える
モトヤの資材ブランド。
消耗品による環境改善を実現します。

※詳しくは…



※詳しくは… 多くの人へ情報やイメージを伝えていく
美しく、効果的に。
社会への負荷も可能な限り抑制していく
サインシステムの枠を超えた、ルーファス。



人に、社会に、ルーファス



LUFAS®

印刷業界の採用情報を発信する企業様

◆社員紹介 ◆紹介予定派遣 ◆人材派遣 ◆業務委託などのご相談は…

モトヤ まきばアーティザンメント部

大阪 06-6358-9124 / 東京 03-3523-8719
人材派遣業登録 27-020254 / 人材紹介業登録 27-030174

印刷のソリューションプロバイダー 株式会社モトヤ

大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町2-8 ☎(06)6358-9131(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

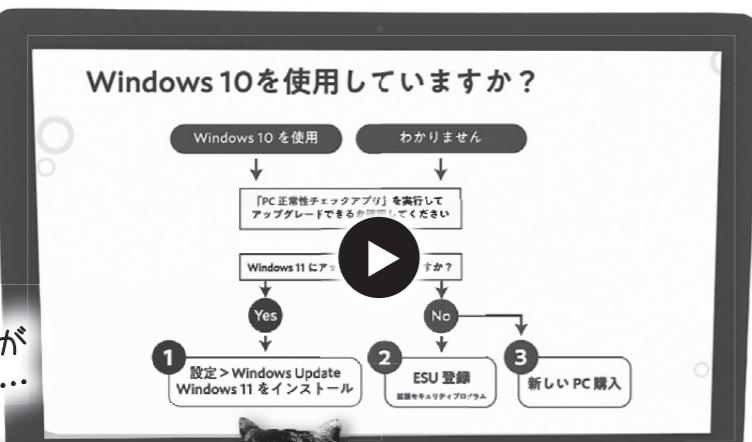
2025年12月

広報委員会
が選ぶ!

HOT NEWS おすすめ番組情報

いますぐチェック!

JaGra BB |



study
7年ぶりに大変身の理由とは?
カテゴリー>教育と技術 > DX・総務経理・その他



気づいた? Office アイコンが変わった!
2025年10月から展開されている約7年ぶりのOffice
大規模リニューアルについて、印刷会社の皆様に知って
おいていただきたいポイントを解説します。
日々の業務の合間に、最新のOffice動向とAI時代への
対応をキャッチアップしましょう。



BTubeへの
映像データ募集中!



投稿方法は
こちらから→

JaGra BBは、JaGraが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。
2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

NEWS

業界の動き

イベント

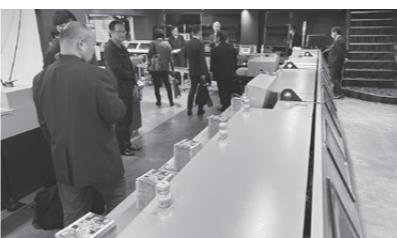
スマートソリューションフェア開催 高速無線綴じラインを披露

ホリゾン

ホリゾン・ジャパンは11月6日、7日の2日間、東京都江戸川区の東京支社ショールームで、「ホリゾン・スマートソリューションフェア 2025秋 in 江戸川」を開催しました。

会場では中ロット生産から多品種少量生産まで対応する高速無線綴じライン CABS6000 のデモンストレーションが行われ、毎時4,000冊の文庫サイズから、コミックB6サイズへのセット替えを披露しました。

また、クラフト梱包の自動化提案として、富士油圧精機株式会社のデリバリースタッカーの一本交互集積機、小型自動クラフト(マルチパック)ロールタイプ、自動ラベル貼り機を展示しました。



構築するか~」をテーマに語り合いました。両会長は価格競争の現状について意見を述べた後、印刷業界の未来に向けた価値づくりの重要性を指摘。従来の印刷業にとらわれない、情報サービス産業としての変革を呼びかけました。

情報交換会では発起人を務めた作道印刷株式会社の作道孝行社長が趣旨を説明、印刷タイムスの安藤光信社長が参加者へ70周年の感謝を述べました。



関連団体

日印機協定期総会を開催 セミナーでAI活用学ぶ

日本印刷機材協議会は11月17日、東京都千代田区の喜山倶楽部で令和7年度第67回定期総会を開催しました。総会後はJaGra、東京グラフィックスの理事もご招待を受け、講演会と懇親会が行われました。

講演会では、AI技術開発などを手掛ける株式会社トリプルアイズの藤澤由士執行役員が「未来を彩るAIと印刷の革新～革新と創造で拓く次世代印刷の未来～」を演題に講演。AIの技術動向などを基礎的な情報から業務効率化の具体例となるAI活用などを紹介しました。



関連業者

印刷タイムス 70周年で記念対談 全印工連・瀬田会長とJaGra・岡本会長が対談

印刷タイムス

印刷業界誌の印刷タイムスは2025年3月で創業70周年を迎えたことから、11月11日、大阪市中央区のホテル日航大阪で、創業70周年記念対談&情報交換会を開催しました。

記念対談では、全日本印刷工業組合連合会の瀬田章弘会長とJaGraの岡本泰会長がパネリストを務め、バリューマシンインターナショナルの宮本泰夫副社長がコーディネーターとなり、「価格競争から価値協創・価値競創へ—印刷業の未来を語る90分—～印刷の本質と地域・社会への価値発信をどう再

新刊案内

『印刷白書 2025』を発刊

AIとGXに着目

JAGAT

公益社団法人日本印刷技術協会（JAGAT）はこのほど、『印刷白書 2025』を発刊しました。

印刷業界で唯一の白書として1994年以来、毎年発行されていますが、2025年版では組織変革などの項目を追加。「第1章 Keynote」をpage2026のテーマ「Re : Connect ~再びつなぐ、印刷のチカラ」と連動させ“Re : Connect”としています。続いて「第2章 印刷産業の動向」では印刷産業の現状と課題を俯瞰的に捉え、「第3章 印刷トレンド」では技術的課題を整理しています。「第4章 関連産業の動向」ではクライアント産業の動向を探り、「第5章 印刷産業の経営課題」ではサステナビリティから人材まで印刷産業が取り組むべき課題を整理しています。

また、印刷メディア産業に関連するデータを網羅し、UD書体を使った見やすく分かりやすい図版を多数掲載し、他誌には見られないオリジナルの図版も充実させています。

■本書の内容

第1章 Keynote Re : Connect

商業印刷の価値は再定義できるか 未来に向けて「Re : Connect」するために

第2章 印刷産業の動向

〔産業構造〕 印刷がつなぐ社会～広がり続ける印刷の可能性

〔産業連関表〕 多様な産業の需要に応える印刷製品と関連サービス

〔市場動向〕 自律成長に向けた拡印刷による多角化 課題解決型とサービス型へのシフト

〔上場企業〕 サステナビリティとDXで未来を切り拓く上場印刷企業

第3章 印刷トレンド

〔デザイン〕 デザインの力で印刷の価値を高める

〔ワークフロー〕 印刷業界の新たなエコシステム構築に向けて

〔デジタル印刷〕 加速するデジタル印刷シフトと未来展望

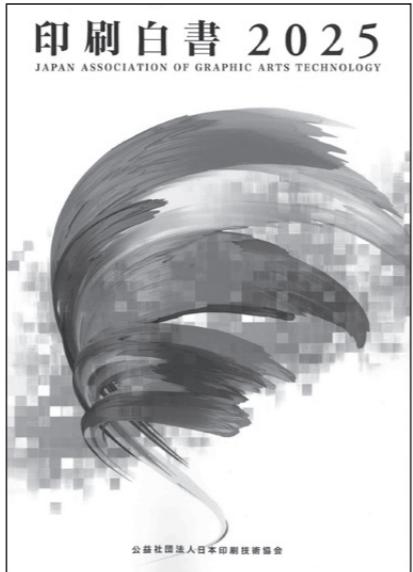
〔後加工〕 製本業界の課題と技術革新 構造改革を目指す持続的成長

第4章 関連産業の動向

〔出版業界〕 大手出版も取次もデジタル印刷に本腰 収益率改善の切り札として期待のDSR

〔新聞業界〕 デジタル時代に進化する新聞～信頼を強みに新たな役割へ

〔広告業界〕 広告費は過去最高の7.7兆円、インターネット広告は3.7兆円に



【地域メディア】 地域メディアを起点にした課題解決と価値創出

【通信販売業界】 通販・EC 市場売上高初の14兆円台に突入伸び率もやや前年上回る

第5章 印刷産業の経営課題

【サステナビリティ】 サプライチェーンで求められる環境対応

【地域活性化】 高まる民間企業の地域活性化参画への期待 共助領域の課題解決をビジネスの手法で

【経営管理】 活学で部下と「コミュニケーション上手」になるには？

【デジタルマーケティング】 SNSは「対話」と「体験」を重視するマーケティングツールへ

【AI活用】 2030年に向けた印刷業界のAI活用戦略

【組織変革】 拡印刷を成功させる組織変革の進め方 変革理論を指針としたプロセスづくりの要諦

【労務管理】 変化する中小企業施策と経営力による成長戦略の道

・巻末資料

■本書概要

タイトル：印刷白書 2025

監修・著：公益社団法人日本印刷技術協会

判型：A4判並製

頁数：112ページ（オールカラー）

I S B N：978-4-88983-181-8

発行：公益社団法人日本印刷技術協会

定価：15,400円（本体14,000円+税10%）

（JAGAT会員は特別割引税込価格9,900円）

※ JAGAT会員企業の代表者には1冊無償配布します

通信販売：

下記ウェブサイトよりお申し込みください

<https://www.jagat.or.jp/archives/498851>

日印産連の活動トピックスをご紹介します。

JFPI REPORT ダイジェスト版

各タイトル横の番号ごとに、
WEBページで詳細がご覧いただけます。
右記のQRコードよりご確認ください。



2025年「9月 印刷の月」講演会・記念式典・懇親会開催

9月11日(木)、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「鶴の間」にて開催いたしました。講演会は、印刷博物館館長 京極夏彦氏を講師に招き、「印刷文化ー印刷メディアの可能性」をテーマに講演いただきました。

また本年は、従来の日印産連表彰「印刷功労賞」「印刷振興賞」「特別賞」に加え、40周年特別表彰「役員永年功労者」「事業永年功労者」「永年功労団体」を設け表彰を行いました。表彰式後は、懇親会も行われ、交流を深めあう賑やかな宴となりました。



主催者代表挨拶 磨秀晴会長



講師 京極夏彦氏



役員永年功労者3名



事業永年功労者2名



永年功労団体 代表者

2025グリーンプリントイング(GP)認定制度3賞決定 [3]

〈GP環境大賞・GPマーク普及大賞・GP資機材環境大賞〉

表彰式は10月15日(水)に出版クラブホールで執り行いましたので、その様子は次号JFPI REPORTにてお届けいたします。

新たなビジネス事例

印刷イノベーション 最前線! 第2回

（地元資源を使った新規開拓例）
お米の生産・販売事業で新市場を開拓し地域文化に貢献
株式会社四ヶ所（福岡県）

「おいしい」と笑みがこぼれる体験を通して元気になってほしいと頑っています。

篠原農園の水田

販売している「山の麓のお米」

● その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。[5]

印刷用語集

聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別
や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。



印刷産業 Monthly Report

各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

出版物のご案内

印刷会社のみなさんへ役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。





行こうぜ、印刷の向こうへ

期：2025年10月25日土

文：稻本創（茨城県支部青嵐会会长・全国協議会茨城大会実行委員長）

懇親会 親会のクライマックス、ステージの上からサングラス越しに見た景色は、驚くほど既視感にあふれていた。隣で踊る実行委員会メンバーと書道部、ステージ下で盛り上げる応援団、振り向くと目に入るド派手な書、目の前には楽しそうに笑う参加者の皆さん。何度も何度もイメージしてきた、エネルギーに満ちた風景がそこにあった。

茨城での挑戦：開催地決定から始まった物語

2年前、笹井さんが代表を務める年度に2025年の全国協議会開催地を決めた。順番的に次は関東地区で、という話があり、自分の独断で手を挙げてしまった。SPACE-21の皆さんに土浦へ来てもらいたいという気持ちもあったが、その時は、「まあ100人規模の大会なら何とかなるだろう、内容も適当な人を呼んでセミナーすればいいだろう」程度に考えていました。しかし、実際に準備を進める中で、その考えは大きく変わっていく。

協議会の約1年前に、小澤代表をはじめSPACE-21の三役で開催地である茨城県支部に挨拶に伺った。その時、テーマの方向性としてAIに取り組むことを

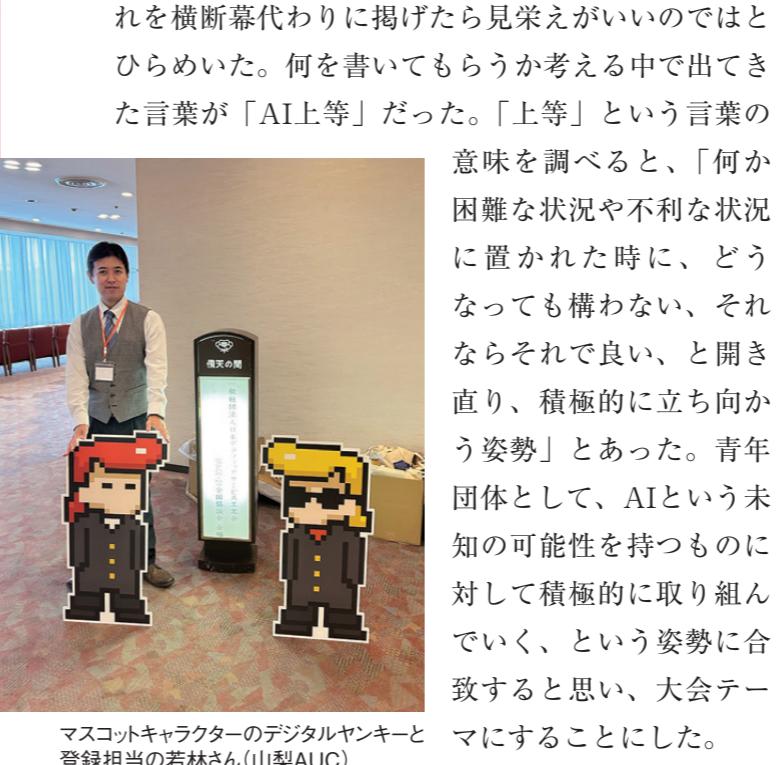
茨城県支部挨拶の前に弊社にて
まだあまり深く考えていない筆者(中央)

話した。個人的にも未知の領域で、興味があった。適切なセミナーというわけにはいかなくなったなと思いつつ、しっかりやっていこうと決意を新たにした。そして仲間を探すべく、山梨AUCの鈴木智也さんと若林さんに声をかけた。その後、以前から知り合いでありFACEで再会した千葉県支部の熊谷さんを勧誘し、同じく千葉県支部の大和久さんにも声をかけてもらった。担当として田治副代表幹事、茨城の鈴木真吾さんを加え、7名でのスタートとなった。

地域性とテーマの融合：土浦の独自性を追求して

協議会の方向性を考える中で、土浦の独自性を出したいと思った。何があるかと考えた時、ヤンキー文化が頭に浮かんだ。AIという最先端のものと、ヤンキー文化というノスタルジック(?)なものの組み合わせが面白いと思った。懇親会のアトラクションも、地元で活動している先輩に聞き込みをし、土浦第二高等学校の書道パフォーマンスと、常総学院高等学校的応援団を紹介してもらった。両方とも地域性があり、ヤンキーとの親和性も感じた。(常総学院は実現せず、國學院大学に依頼した。)

書道パフォーマンスでは、特攻服の刺繡にあるような、ヤンキーポエム的な内容を書いてもらい、そ



実行委員会の挑戦：自ら汗をかく姿勢

大会を設営するにあたり、自分の中でこだわりとして持っていたのは、実行委員会が自らパフォーマンスをするということだった。プロに来てもらえば楽しませてもらえるのは当たり前。たとえ拙くても、来てくれた皆様を実行委員会が手弁当で一生懸命楽しませるという姿勢が、我々のような青年団体には必要だと思った。大袈裟ではなく、懸命に汗をかいた先には感動すら生み出せると信じていた。

そこから考えついたのが、氣志團のワンナイトカーニバルの替え歌であった。実行委員会がヤンキーのコスプレをして、書道パフォーマンスの書をバックに踊ったら絶対盛り上がる。書道部や応援団にも一緒に踊ってもらったら、最高に映える、とアイディアがどんどん浮かんできた。替え歌の歌詞を考えるのも苦労したが、曲の終わりに登場する「行こうぜ、ピリオドの向こうへ」というセリフを、「行こうぜ、印刷の向こうへ」と替えることを思いついた時、最後のピースがはまつた感覚があった。大会テーマ「AI上等～印刷の向こうへ～」が完成した瞬間だった。

協議会の内容：生成AIの可能性を探る

懇親会のアイディア出しはどんどん進んでいったが、協議会の内容も考えなければならない。ちょうど

その頃、SPACE-21の総会において、株式会社大塚商会様による生成AIをテーマとしたセミナーがあったので、何かヒントになることはないかと前のめりで参加した。そこで紹介されたのがChaChatアシストであった。印刷会社でよくある印刷機のトラブルや営業ノウハウなどを読み込ませて、SPACE-21メンバーで知識の共有ができたらしいのではないか、というアイディアが上がった。

最終的に「トラブル事例と解決方法」「みんなの設備とできること」「印刷会社向け採用マニュアル」の3つのサービスを用意することになった。セミナーに関しては大塚商会様から講師を派遣していただことになったが、ChaChatアシストの活用方法については実行委員会で手作りしたものについての発表となった。懇親会同様、自分たちで作り上げる、というこだわりにもはまつた。

準備と当日の舞台裏：困難を乗り越えて

計画段階で株式会社SHITARAの金田さんが加わり8名となった実行委員会だが、メンバーが茨城、千葉、山梨と地理的に離れていたので、会議は主にzoomで行った。zoom会議は毎回議題を2つか3つ用意し、1時間半程度で終了するようにした。しかし我々にはパフォーマンス練習という、どうしても実行委員会を現地開催しなければならない理由があったので、つくばで1回、千葉で1回、甲府で1回の計3回リアル会議を開催した。限られた練習時間だったが、上手さよりも一生懸命練習してきたことを見せられることは大事とメンバーを励ました。ちなみに、最後のパフォーマンスについては実行委員会メンバー以外、口外厳禁のサプライズであった。甲府に行った際、小澤代表が会議に参加し



たいと言い出した時はどうしようかと思ったが、その申し出を鈴木智也さんに抑え込んでいただき、練習後の最後の30分だけ会議に来ていただいた。

そして迎えた大会当日。準備万端で臨んだつもりが資料に漏れがあり、会社に戻って印刷物を一つ作成する必要ができた。しかし、委員会メンバーに役割分担を行い、それぞれの場所で責任者を立てておいたので、自分がいなくてもしっかりと準備をしてくれた。非常に頼もしかった。どうしても1人で進めてしまいがちな自分だが、仲間のありがたさを感じることができた。



歓迎の挨拶でご来場の皆様に感謝の意を述べる稻本実行委員長

全国協議会開幕：垣間見えるジャグラらしさ

受付が始まり、ぞくぞくと集まつくるSPACE-21やジャグラ会員の姿を見て、ついにこの日が来たかと思った。協議会が始まり、来賓挨拶の時に、岡本会長に間違った挨拶時間が伝わってしまったことが判明した。これはもともと5名の来賓全ての方にご挨拶をいただこうと設定していた時間で、挨拶が岡本会長だけと変更した後も資料に残ってしまっていた時間だった。しかしそんな我々のミスを見透かしてか、岡本会長は全来賓をステージに上げて急速挨拶をいただくという、岡本会長にしかできないムードでフォローしてくれた。岡本会長にはこの場を借りて謝罪と御礼を申し上げたい。

セミナーでは、「印刷業における生成AIの活用と安全な利用法」というテーマで、大塚商会の阿部主任にお話いただいた。セミナーに至るまでに、複数回のzoom会議やメールでの対応をしていただき、良

いものにしたいと言うこちらの想いに応えてくださいました。

ChaChatアシストサービスの紹介&グループワークは、早口で聞きづらいスピーチだったとは思うが皆さん熱心に聞いてくれた。グループワークではフォローが行き届かない部分があり、ご不便をおかけしてしまったと思うが、それぞれのグループで積極的にリードしてくださる方がいたのは非常にジャグラらしいと思った。

感動のフィナーレ：印刷の向こうへ

懇親会のオープニングを務めてくれた土浦第二高等学校書道部の書道パフォーマンスは素晴らしかった。我々の世代を考慮して選んでくれたB'zのウルトラソウルにのせて、パワフルかつ繊細な筆使いで大会テーマを書き上げてくれた。一生懸命パフォーマンスする姿にとても感動した。そして会は進み、いよいよクライマックス。國學院大學全學應援團が演技をしている姿に後ろ髪を引かれながら、着替えのために控え室へ。衣装に着替えている時、今までのことが思い出された。初めて実行委員会にこのサプライズを共有した時は、皆乗り気ではなかった。それはそうだ。コスプレして踊るなんて、滑ったら目も当たらない。だがメンバーに対して「絶対、大丈夫」と言い続けた。根拠はなかったがビジョンはあった。そんなメンバーが楽しそうに一緒に踊ってくれる。これまでの努力が報われたと感じながらステージ袖へと向かった。

そして、演技を終えた応援団からの「全国協議会実行委員会より来場の皆様へ」の呼び込みに合わせて、皆の想いを噛み締めながら俺たちは栄光のステージへと飛び出した。



サプライズパフォーマンスを披露する実行委員会メンバーと二高書道部員



「ChaChatアシスト for SPACE-21」リリースについて

ChaChatアシストとは、安全に文書生成AIが利用できる、株式会社大塚商会様が提供するサービスです。ChaChatアシストはチャット履歴がAIに学習されることがなく、個人情報や社内の秘匿性の高い情報を扱うことができ、情報漏えいやセキュリティのリスクに対応しております。全国協議会開催に際し、SPACE-21で团体契約をしました。こちらの「ChaChatアシスト for SPACE-21」では、さらに印刷業界のつながりを利用し、各社が持つ知識を共有することができる仕様になっております。

現在、少しでも早く皆様にお使いいただけるように準備中です。1ユーザー当たり月額1,000円程度で気軽に使いいただける予定です。最新情報につきましては、今後グラフィックサービス誌面等でご案内いたします。



東グラ「グラサー営業部」、 今年も「組合まつり2025」で 元気にPR！ —“文化祭ノリ”で挑んだ一年間のチームワーク—

東京グラフィックス(東グラ)は、2025年10月29日・30日に東京国際フォーラムで開催された「組合まつり2025」に出展しました。このイベントは東京都中小企業団体中央会が主催し、今年は130を超える組合が参加。組合の魅力発信や販路拡大を目的に、多彩なブースが並びました。会場全体が活気に満ち、まさに“東京のものづくり文化祭”とも言える盛り上がりでした。



東グラの出展は、19社の会員企業で構成されるクラブ活動「グラサー営業部」が中心となって準備を担当。実は準備は昨年の打ち上げでリーダーを選んだ瞬間からすでにスタートしており、約一年間の話し合いや企画を重ねてきました。単独で展示会に出るのはハードルが高い企業も多い中、「ここで経験できるのは貴重」との声も。参加メンバーの社員も積極的に動き、ブース構成から集客方法まで、皆で意見を出し合いながら取り組みました。準備期間はまさに学生時代の文化祭のよう、「あの頃より真剣だったかも…」という声も聞こえてくるほどの熱気でした。



東グラは今回の展示会に合わせ、営業部としての活動を強化。参加企業が得意とするサービスを紹介するため、「グラフィック・カタログ」を制作しました。表紙には「発想から発送まで」と掲げ、印刷はもちろん、イベント企画、カード類、クリアファイル、自費出版、ホームページ制作・運用、さらには税理士法人によるサービスまで、会員企業の幅広さを象徴した内容になっています。「このコピー、実は会員の守備範囲の広さをどうしてもひとと言で言い表したかったんです」との担当者の声もあり、“言い得て妙”と評判でした。



組合まつり当日は、来場者(=お客様)に向け、このカタログと専用ホームページを活用し、興味のあるサービスを選んでもらうという仕組みを導入。選ばれたサービスは東グラ事務局を通じ、該当する会員企業に連絡が届く流れになっています。展示会向けに開発したシステムではありますが、これ、実は展示会が終わってからも使えるんです。各社が自社の営業ツールとして持ち帰り、新規開拓や既存客への提案に活かせる設計になっています。東グラのサービスを“自分の会社のメニュー”として紹介できるため、会員同士が協力し合う効果も生まれています。

今回は組合まつり参加企業を中心に構成しましたが、今後は東グラだけでなくジャグラ会員まで対象を広げる案も検討されています。来年の「新・グラサー営業部」がどのように発展させていくか、ますます楽しみです。

なお、今回制作したホームページはQRコード、または以下のURLよりアクセスできます。ぜひ一度ご覧ください。

<https://catalog.tokyographics.or.jp/>



参加企業一覧（敬称略）

株式会社金精社／株式会社研美社／株式会社いなみつ／株式会社昇文堂／株式会社文化ビジネスサービス／株式会社アイト／株式会社ケイズイ／株式会社向陽デジタルワークス／有限会社鈴木商店／株式会社ズズパック／青文堂株式会社／株式会社ダーツ／西谷印刷株式会社／有限会社ねころのむ／株式会社松谷メールサービス／株式会社コンゴー商会／株式会社グッドクロス／税理士法人グランザーズ／株式会社東洋ビジネス

事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

11月の事務局日誌

- 4日 広報委員会（Web会議）
- 5日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
- 6日 地域活性化委員会（本部）
- 7日 理事会、全国協議会、懇親会（1日目）（KFCホール、第一ホテル両国）
- 8日 全国協議会（2日目）（KFCホール）
役員推薦委員会（KFCホール）
自費出版文化賞表彰式（アルカディア市ヶ谷）
- 11日 印刷タイムス70周年記念イベント（大阪）→岡本会長、田中専務
ジャグラコンテスト委員会（Web会議） ジャグラBB工場探訪撮影→今田
- 12日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
- 13日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
- 14日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
- 17日 日印機協総会（喜山俱楽部）→田中専務
- 18日 業態進化委員会（Web会議） SPACE-21幹事会（Web会議）
- 19日 日印産連ステコミ（Web会議）→岡本会長、田中専務
サスティナ酒場（Webイベント） Pマーク現地審査（栃木）→今田、笠原
- 25日 日印産連GP推進部会（Web会議）→田中専務
- 27日 サスティナブル委員会（Web会議）
70周年誌編纂委員会（Web）

12月のスケジュール

- 1日 ジャグラショートカット委員会（Web会議）
- 3日 正副会長会議（Web会議） MIS研究委員会（Web会議）
- 4日 Pマーク現地審査（静岡）→田中専務
- 5日 Pマーク現地審査（秋田）→田中専務
- 9日 Pマーク現地審査（埼玉）→今田、笠原
- 10日～13日 キャレオス フォーラム→岡副会長、田中専務
- 10日「page2026」記者発表→笠原
- 17日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
- 18日 生産性向上委員会（Web会議） 地域活性化委員会（Web会議）
- 22日 会員拡大委員会（Web会議）
- 23日 業態進化委員会（Web会議）

2026年1月のスケジュール

- 7日 理事会（Web会議）
日印産連新年交歓会（オーフラ東京）
- 8日 広報委員会（Web会議）
- 13～14日 Pマーク現地審査（鹿児島）→今田
- 15日 環境表彰制度検討WG（印刷会館）→田中専務
日印機工年始会（東京プリンスホテル）→田中専務
- 16日 東京イノベーション発信交流会→齋藤理事、田中専務
- 19日 東グラ新春賀詞交歓会→田中専務
- 20日 会員拡大委員会（Web会議）
- 21日 Pマーク現地審査（高知）→田中専務
- 22日 Pマーク現地審査（高知）→田中専務
- 23日 作品展委員会（Web会議）
神奈川県支部賀詞交歓会→田中専務
- 28日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
産連ステコミ（Web会議）

事務局便り

9月より始めたソーソースリーム生活の進捗をご報告。残念ながら、体重減少という目に見える効果には繋がっていません。しかし、清涼飲料水への手が伸びなくなったのは大きな変化！ 家計への影響は、ジュース代の節約と炭酸ボンベ代の出費が相殺しているのが現状ですが、人工甘味料フリーの生活は健康的で気分が良いものです。そして、追い討ちをかけるように家族の強烈な勧めを受け、11月からはついにジムに入会しました！ 今は筋肉をつけることより、有酸素運動を中心汗をかくことを最優先にしています。ソーダストリームで清涼飲料水を断ち、ジムで代謝を上げるというこの「合わせ技」で、今度こそ体重が減ってくれることを期待しています！（今田）

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』889号

■発行日 令和7年12月10日（毎月1回）

■発行人 岡本 泰

■編集人 本村 豪経

■発行所

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271 フax 03-3661-9006
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>

ジャグラは一般財団法人日本情報
経済社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラ広報委員会

担当理事
神山 明彦 愛知・株式会社ヤマノ副会長

委員長
本村 豪経 福岡・アイメディア株式会社理事

委員
東海林正豊 秋田・株式会社東海林印刷
谷山 和也 東京・青文堂株式会社

野口 聰 東京・株式会社アクティブ
小澤孝一郎 山梨・株式会社オズプリント

安達 瞳男 大分・有舞鶴孔版
瀬尾 淳 広島・株式会社広瀬印刷

三宮 健司 高知・有三宮印刷
佐藤 愛子 大分・株式会社クリエイツ

西谷 誠 東京・文京・西谷印刷
松谷 勝広 東京・文京・株式会社松谷メールサービス

笹井 靖夫 東京・文京・共立速記印刷株式会社
田中 良平 専務理事

◎原稿・編集・校正
田中 良平 阿部奈津子 今田 豪
長野未奈美 古田 理子 笠原賢一郎
以上、ジャグラ事務局

◎涉外 田中 良平

◎広告 田中 良平

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 株式会社クリエイツ（大分県支部）
DTP = Adobe CC ほか
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

UD FONT by MORISAWA
※本誌の一部にユニバーサルデザインフォント
を使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謙写堂 (高知県支部)
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xfmf
CTP = Luxel T-6300 (自作: 富士フイルム XP-1310R)

印刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ

用紙 = 三菱ニューバーマット A4 57.5kg

Copyright 2025 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】弘前城（青森県）

RMGT-CSPI ともに創る印刷の未来



グラフィックサービス GS No.889 2025.12

RMGT-CSPIが
SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

